



いのち新聞

(No.11)

2020年5月

編集長

おもかげ復元師 笹原留似子

2020.2.11 東日本大震災1日だけの写真パネル展 ~あの日を忘れない~



第8回目となる、いのち新聞主催の震災写真パネル展は2月11日に北上市のさくらホールで開かれました。2012年に初めて、さくらホール内にある10畳ほどの小さなお部屋を借りて開催し、当時300名を超えるご来場者

をお迎えしてから、皆さまのお力添えをいただき、毎年欠かさずことなく続けることが出来ました。今年で8回目を数える会場は、規模が大きくなり、800名弱の皆さまをお迎えしました。

癒しのメロディー 岩手県警察音楽隊

震災直後からこれまで被災地を回り活動されている“岩手県警察音楽隊”のみなさま。いのち新聞では今年初めてお迎えしました。コンサートには沿岸・内陸を問わずたくさんのご来場者が集い、東日本大震災を偲ぶ1曲1曲の演奏に、涙を流し、心癒され音楽の力に会場全体が魅了されました。カラーガード隊も加わり、オレオレ詐欺の寸劇も演じられ、会場は大きな拍手の渦に包まれ、あっという間の1時間でした。



岩手県警察本部 刑事部 ~身元不明者相談会~

岩手県警察本部刑事部による、身元不明者相談会が開催されました。岩手県警察本部刑事部は、震災当時からこれまで行方不明者、身元不明者相談会を主に沿岸地域と県内各地で開催しています。北上市では初ということで、内陸に住む被災者のみなさん、沿岸からも相談に来場されていました。会場では、岩手県警察本部のホームページでも公開されている行方不明者の似顔絵が展示され、多くの来場者が「知り合いがいるかもしれない」と、一人一人の似顔絵を真剣に見ている姿が印象的でした。現在、岩手県の行方不明者数は1,113人（令和2年5月現在）と発表されています。



お砂踏み



今年“お砂踏み”のコーナーを初めて設置しました。この風習を知ったのは、出張で京都のあるお寺へ行ったとき。本堂の写真の前で、本堂前の砂を袋に詰め、その砂を踏むことで参拝したことになると知りました。僧侶の管理下で、48カ寺の本堂の写真と砂が並べられていました。

いのち新聞には被災者の皆さんから「一度故郷を離れると、帰りたいが帰る勇気がなくて帰れない。」という多くの相談があります。そこで、参拝時に僧侶に相談したところ、「この風習はそういうためにある」と真似ることの許可をいただいて実現しました。宮古市田老、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市のお寺や神社、個人のご協力をいただき、現地の被災者の皆さんが袋に詰めた砂と写真、被災者の子どもたちが作ってくれたお地藏さまの3点を、会場内に開設しました。「帰ったことになって良かった。これで帰れる。」と、多くの皆さまからお声掛けをいただきました。



星空

震災で母を亡くし、祖父が現在も行方不明となっている“靴屋のゆきのちゃん”こと、Iさん。医学部の息子さんを突然お空に送ることになった、母ちゃんの会長の“母ちゃん”。そして、編集長。三人の共通点は、令和2年に“父”を亡くしたこと。そんな3人が新聞編集集中に繰り広げた会話を紹介します。

Iさん「震災から10年経つのかと考えながら、勇気を出して当時を振り返ると、どうしても思い出せないことがあるんですよね」母ちゃん「なに？」Iさん「色・・・」母ちゃん「確かに。ショックすぎると、記憶が途切れ途切れ」Iさん「でも、町も家族も全部が無くなって、絶望の淵に立たされている時に見た、故郷の陸前高田の満天の星空に私の気持ちは支えられていたかも。」母ちゃん「私もそう。人前で泣きたくなくて、悲しみがあふれ出す時に夜に車に乗り込んで、大声で泣くの。そして、星空の中に息子がいるような気がして、星に話し掛けるの。」Iさん「そう。『かあさん、今、何してるの？』ってね。」母ちゃん「そうそう。そして、静かにまた泣くのね。でも、星ってすごいですよね。」

Iさん「本当！ただ、存在しているだけなのに、すごい。」母ちゃん「道端の小さな花も、愛おしくなる。かわいいなあって、しゃがんで見つめて。」編集長「どうしてあんなに愛おしくなるんだろうね？」母ちゃん「そりゃ、一生懸命生きてるからよね！」Iさん、編集長「そっかあ！！」

死を経験した私たちは、生きていることを意識する。そして、自分もいつか、いつなのかは分からなくても死を迎えることを知っている。生と死は単独で存在しておらず、セットであることも知っている。自分の人生の中に、大切な誰かがいることも実感している。お空に送った大切な誰かと、生きていく道を探しているのも事実である。いのちある時間は、自分のいのちを休み休みでも輝かせるために与えられた時間であることを、私たちは満天の星空に学んだのかもしれない。（編集長）

ご支援・ご寄付のご案内

北上信用金庫 東支店 口座番号 0103488
預金種類 普通預金 口座名称 いのち新聞 代表 笹原 留似子

ご支援いただけるスポンサーの皆さまには、活動報告を別資料として報告致しております。ハガキや封書にて住所・氏名・電話番号・メッセージなどをご記入いただき、いのち新聞編集部宛に郵送ください。

「いのち新聞」へのお手紙や活動資金のご寄付ありがとうございます。

お問い合わせ先

〒024-0024 岩手県北上市中野町2丁目28-23
株式会社 桜内 「いのち」新聞編集部

☆お電話での問い合わせはご遠慮ください。ハガキ又はお手紙で受付けています。